

写真提供: いずれも姫路市



15世紀から同じ場所に立つ千年家 旧古井家住宅

姫路市安富町皆河233-1
土曜、日曜、祝休日10時～16時
無料

1 建築当時から現在まで移築されることなく保存されていることから、「無災の千年家」と呼ばれています。室内には独立した柱が立ち、見える部分は丁寧に加工されています。部屋の床は、板ではなく珍しい竹すのこ敷き。2 神様が座ったとされる「亀石」が床下があり、災いを防ぐ石として部屋の中の小さな祠(ほくら)に祭られています。



民家初の 国宝指定へ

国内に数軒しかない室町時代の民家遺構のうち、県内にある「箱木家住宅主屋」と「旧古井家住宅」の2軒が、民家初の国宝に指定されることになりました。県内の建造物では神戸市西区の「太山寺本堂」以来71年ぶりで、これまで国宝といえば社寺や支配層の建物が中心だったため、庶民の住生活文化の価値が認められた点で画期的です。住民や保存会が長年管理し、2018(平成30)年からは神戸市と姫路市が協力して調査を実施した成果です。多くの人に見学してもらい、官民一体で地域の宝を未来へ残す体制づくりのきっかけになればと考えています。(県教育委員会文化財課)

県教育委員会文化財課 ☎078-362-3783 ☎078-362-3927

14世紀ごろに建てられた国内最古の民家 箱木家住宅主屋

神戸市北区山田町衝原字道南1-4
土曜、日曜、祝休日9時～17時
(11月～3月は16時まで)
一般500円、小中学生300円、
未就学児無料

詳しくは
こちら



1 かやぶき屋根で軒が低く、窓などの開口部が少ない造り。1979(昭和54)年、呑吐(どんど)ダム建設に伴い元の位置から約70m南東へ移築。2 地元大工による荒々しい仕上げや力強い骨組みなど、神社仏閣にはない実用的な建築技術の痕跡が見られます。柱の一つは1300年代に伐採されたマツであることが判明。



写真提供: いずれも神戸市

6つの芸術祭で アートな秋を

県内各地で個性豊かなアートフェスティバルが開催されます。芸術の秋を楽しみませんか。(県芸術文化課)

アートde元気ネットワークひょうご推進会議(県芸術文化課内)
☎078-362-3171 ☎078-362-4260



木を素材にしたアートの全国公募展

9月18日(金)～10月4日(日) 第32回木彫フォークアートおおや 養父市立おおやホール

町屋を舞台にアート空間が広がる芸術祭

9月19日(土)～23日(水)、25日(金)～27日(日)

丹波篠山・まちなみアートフェスティバル

河原町妻入商家群(丹波篠山市)とその周辺

ハロウィーンライトアップとアートマーケット

10月17日(土)、18日(日)、11月15日(日)

あさご芸術の森アートフェスティバル

あさご芸術の森美術館(朝来市)周辺

六甲山上を舞台にした現代アートの芸術祭

11月29日(日)まで

神戸六甲ミーツ・アート2026 beyond 六甲山(神戸市)

豊岡演劇祭など多彩な文化芸術を通年で展開

通年 Toyooka Art Season 豊岡市民プラザ、城崎国際アートセンター(豊岡市)など

国内外のアーティストと制作や交流を楽しむ

通年 IKUHART企画 IKUHART STUDIO&ARTIST IN RESIDENCE(淡路市)



約25軒の町屋に約40人のアーティストの作品を展示する「丹波篠山・まちなみアートフェスティバル」。



「第31回木彫フォークアートおおや」のグランプリ作品、水嶋昌雄さんの「だあいすき」。



4,000個のキャンドルなどでライトアップする「あさご芸術の森アートフェスティバル」。

9月は防災月間です。ペットの災害への備えもできていますか。まず大切なのは、首輪に名前や連絡先を書いておくなど所有者の明示です。次に、避難場所の確保。ペットを同行できる避難所の把握に加え、台風など予測可能な自然災害に備えた預け先を確保するのもよいでしょう。県動物愛護センターでは、ペットの災害対策をホームページにまとめています。大切なペットを守るため、平時から備えておきましょう。(県動物愛護センター)

県動物愛護センター
☎06-6432-4599 ☎06-6434-2399



守れるのは飼い主だけ ペットの災害対策を



同センターが参加する防災訓練や啓発イベント等では、避難所などで小屋代わりになる「クレート」に慣れるためのトレーニングも。